

### 3.2.3 橋りょう及び橋りょう構造物

#### 3.2.3.1 管理数量

##### (1) 橋りょう数

本市が管理する橋りょうは206橋あります。そのうち、道路橋は199橋、歩道橋は7橋です。橋りょうは、幹線市道（1級市道、2級市道）とその他市道の道路種別ごとに橋りょう数、延長、面積を集計します。

1級市道と2級市道にある道路橋は、それぞれ41橋、38橋です。幹線市道（1級市道、2級市道）にある橋りょうは、本市が管理する橋りょう数全体の39.70%になります。

表 3.2-8 橋りょうの道路種別内訳

道路種別		橋りょう数 (橋)	延長 (m)	延長割合 (%)	面積 (㎡)	面積割合 (%)
道路橋	1級市道	41	216.61	16.23	1,322.447	9.51
	2級市道	38	284.35	21.31	2,729.049	19.63
	幹線市道合計	79	500.96	37.54	4,051.496	29.14
	その他市道	120	833.38	62.46	9,851.534	70.86
	小計	199	1,334.34	100.00	13,903.030	100.00
歩道橋	1級市道	1	98.00	30.55	186.200	19.18
	2級市道	4	144.56	45.05	514.874	53.02
	幹線市道合計	5	242.56	75.60	701.074	72.20
	その他市道	2	78.30	24.40	269.959	27.80
	小計	7	320.86	100.00	971.033	100.00
合計		206	1,655.20	—	14,874.063	—

幹線市道（1級市道、2級市道）とその他市道とも、橋りょう箇所数と橋りょう延長の構成は概ね同じ割合です。また、本市が管理する道路橋の平均的な規模は、延長6.71m、幅員10.42mです。

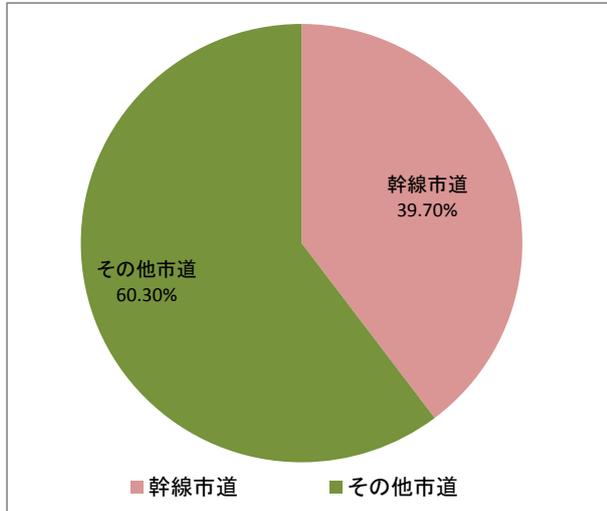


図 3.2-32 道路橋数の道路種別内訳

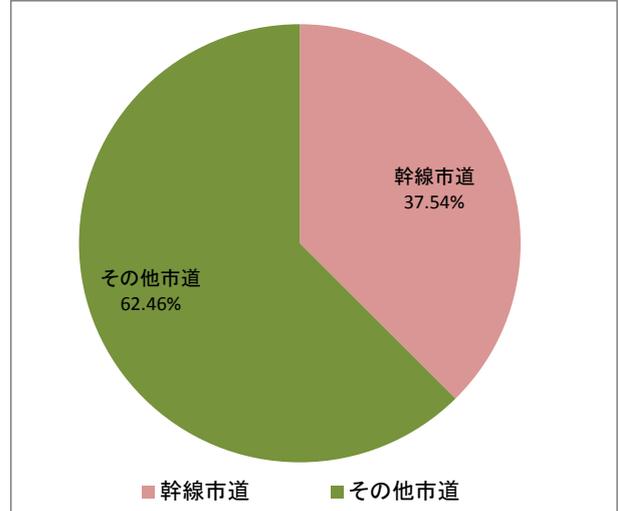


図 3.2-33 道路橋延長の道路種別内訳

また、橋りょう構造物は、大船駅東口と大船駅西口に設置しているペDESTリアンデッキ（歩道広場）とこれに付属する施設があります。

表 3.2-9 橋りょう構造物の内訳

橋りょう構造物	数量 (基)	延長 (m)	面積 (㎡)	備考
ペDESTリアンデッキ	2	363.710	3,181.047	
大船駅東口再開発 Aデッキ	1	66.050	1,093.549	大船駅東口全体： 1,656.195 ㎡ (A, B, C, Dデッキの合計)
大船駅東口再開発 Bデッキ	1	37.248	292.687	
大船駅駅舎～交通広場	1	199.712	1,243.651	大船駅西口全体： 1,794.811 ㎡ (西口～交通広場の合計)
大船駅西口交通広場	1	60.700	551.160	
エレベータ	5	—	—	
エスカレータ	4	—	—	

※大船駅東口再開発のうちCデッキは「大船駅東口1号歩道橋」（延長：43.0m、面積：163.4㎡）、Dデッキは「大船駅2号歩道橋」（延長：35.3m、面積：106.559㎡）として集計します。

本市が管理する橋りょうは、図 3.2-34 のとおりです。

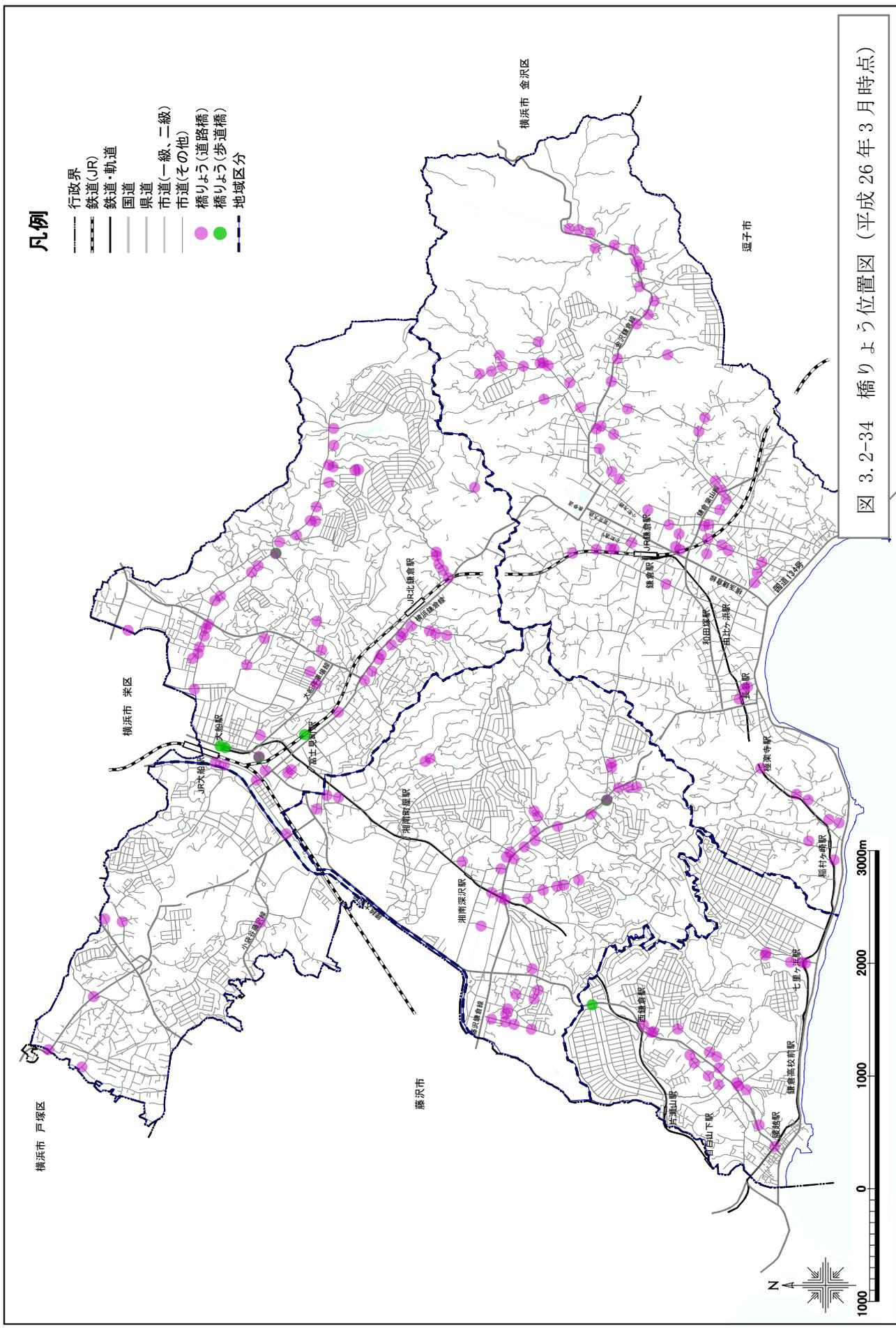


図 3.2-34 橋りよう位置図 (平成 26 年 3 月時点)

### 3.2.3.2 橋りょうの整備状況

#### (1) 橋りょう数の推移

本市が管理する橋りょうの建設年は、全体の 39.32%の橋りょうで確認できますが、その他の 60.68%の橋りょうは、橋銘板などによる確認はできません。建設年のわかる橋りょうの建設年は、昭和 42 年（1967 年）から 52 年（1977 年）の 10 年間に集中しています。

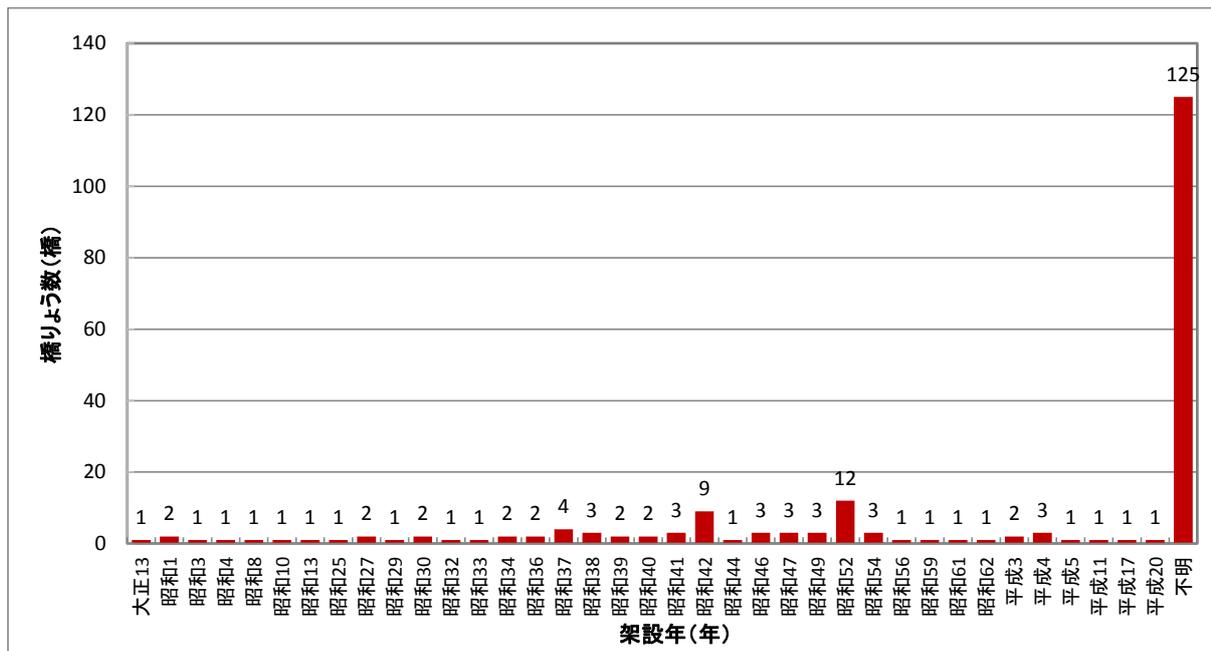


図 3.2-35 橋りょうの建設年の推移

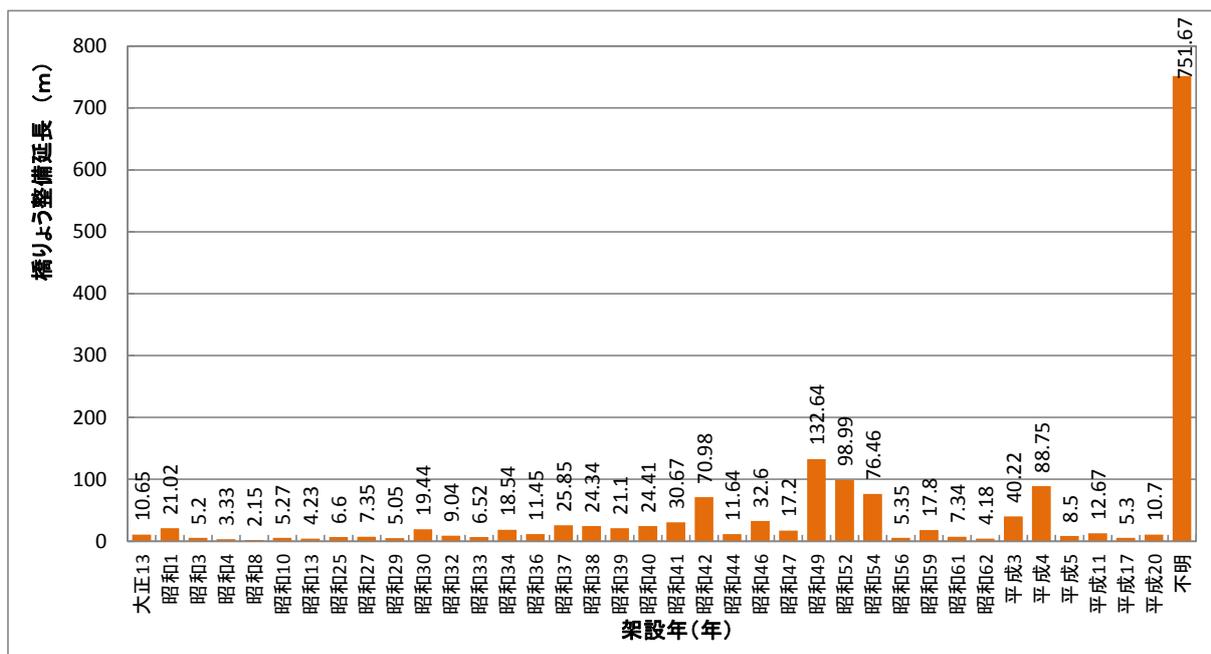


図 3.2-36 橋りょうの管理延長の推移

平成 27 年（2015 年）3 月現在で、昭和 39 年（1964 年）以前に建設した建設後 50 年以上を経過している橋りょうが 29 橋あり、全体の 14.08%に相当します。これらの橋りょうは、すでに橋りょうの標準耐用年数である 50 年を経過しています。

表 3.2-10 供用年数 一覧表

供用年数の分類	橋りょう数 (橋)	割合 (%)
50 年以上	29	14.08
49 年～40 年	24	11.65
39 年～30 年	17	8.25
29 年～20 年	8	3.88
19 年～10 年	1	0.49
9 年以内	2	0.97
不 明	125	60.68
合 計	206	100.00

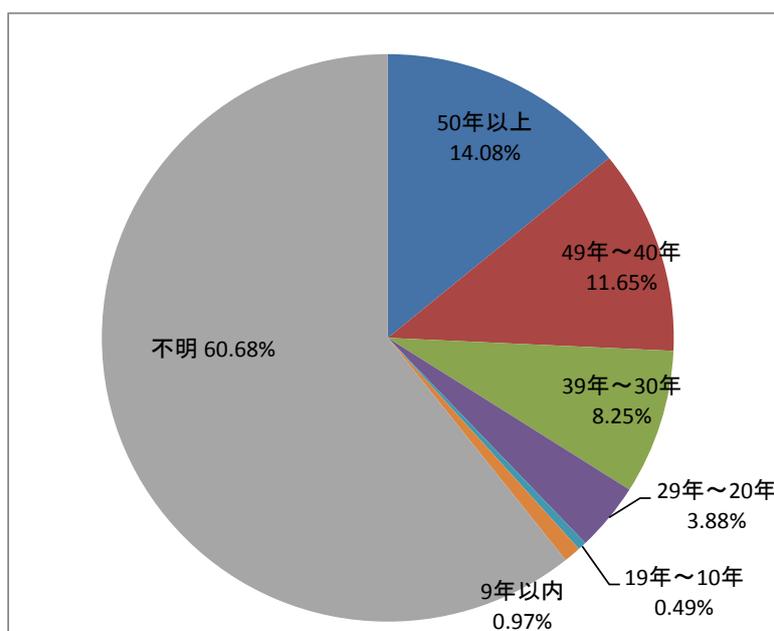


図 3.2-37 供用年数区分の割合

現在の橋りょうを今後も利用し続けることとすると、建設後 50 年以上になる橋りょうは平成 35 年（2023 年）に 53 橋、25.73%、平成 65 年（2053 年）に 79 橋、38.35% となります。

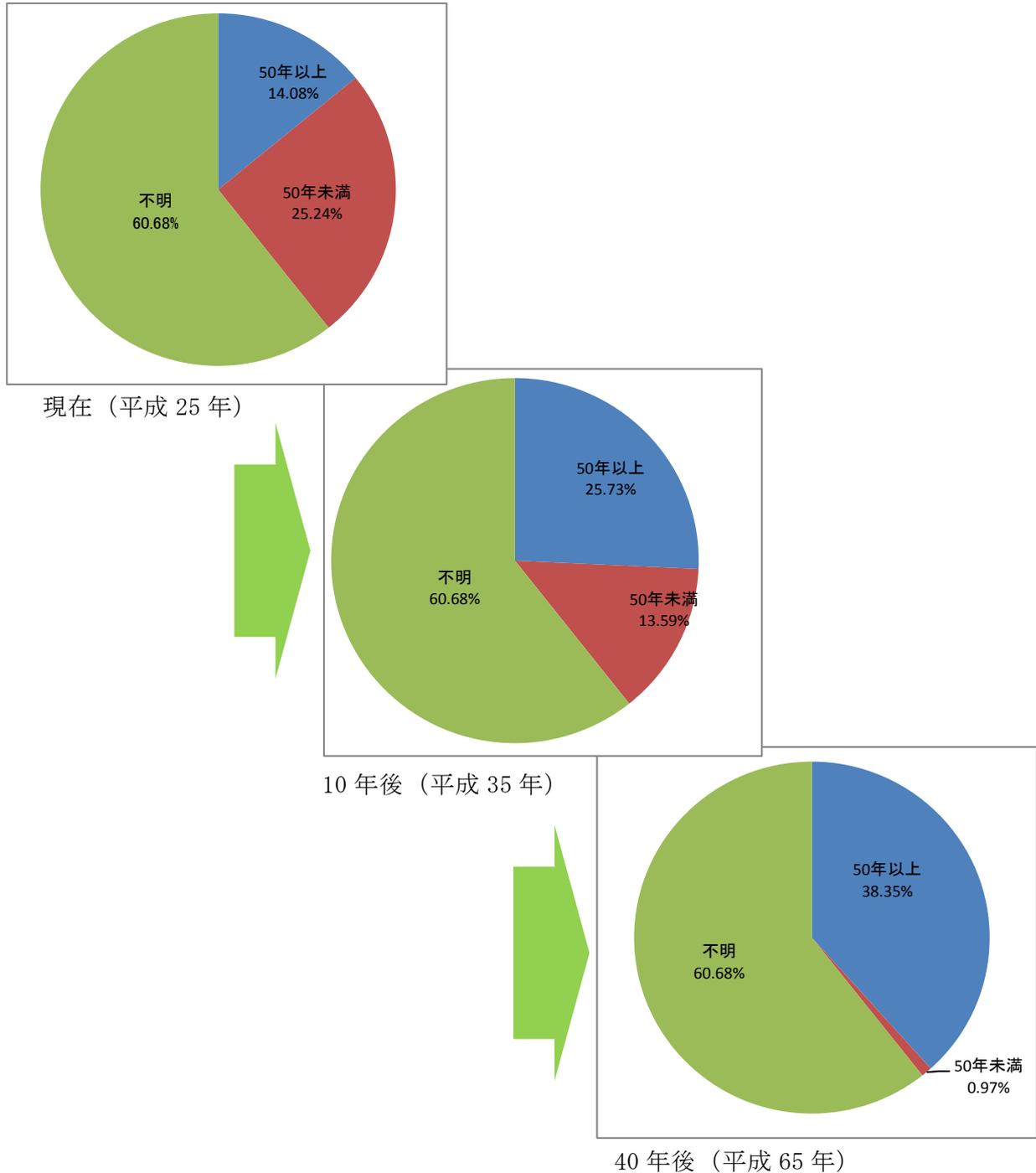


図 3.2-38 経年変化に伴う橋りょう数の推移

## (2) 橋りょうの構造

本市が管理する道路橋の上部工構造を、「橋りょう数」と「橋りょう面積」で分類します。

道路橋については、鋼橋が12橋、RC（鉄筋コンクリート）橋が130橋、PC（プレストレストコンクリート<sup>1</sup>）橋が56橋です。歩道橋については、鋼橋が5橋、RC橋が1橋、PC橋が1橋です。

道路橋と歩道橋を含む構造別橋りょう数は、全体橋りょうのうちRC橋の占める割合が63.59%と過半数を占めます。また、構造別橋りょう面積では、全体橋りょうのうちPC橋の占める割合が47.04%であり、次に鋼橋が31.72%となります。

本市が管理する橋りょうの構造は、小規模の橋りょうはRC橋であり、橋長が長い橋りょうはPC橋や鋼橋です。

表 3.2-11 橋りょうの構造別内訳

構 造		橋りょう数 (橋)	延 長 (m)	延長割合 (%)	面 積 (㎡)	面積割合 (%)
道路橋	鋼 橋	12	223.23	16.73	3,949.983	28.41
	RC 橋	130	560.90	42.04	2,963.074	21.31
	PC 橋	56	546.97	40.99	6,980.642	50.21
	その他	1	3.24	0.24	9.331	0.07
	小 計	199	1334.34	100.00	13,903.030	100.00
歩道橋	鋼 橋	5	218.34	68.05	768.471	79.14
	RC 橋	1	98.00	30.54	186.200	19.18
	PC 橋	1	4.52	1.41	16.362	1.68
	小 計	7	320.86	100.00	971.033	100.00
合 計		206	1,655.20	—	14,874.063	—

<sup>1</sup> 主要部材にあらかじめ応力を与えられたコンクリートを用いて建設された橋りょう

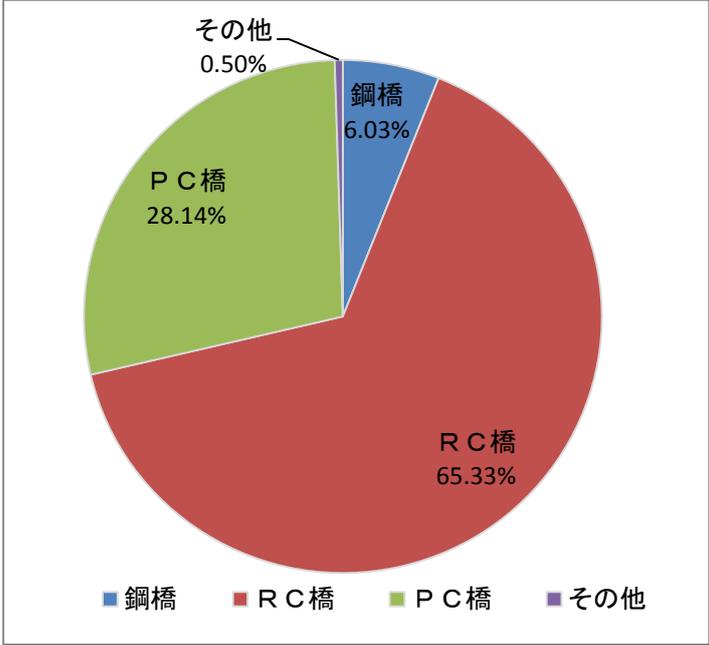


図 3.2-39 道路橋の構造別 橋りょう数

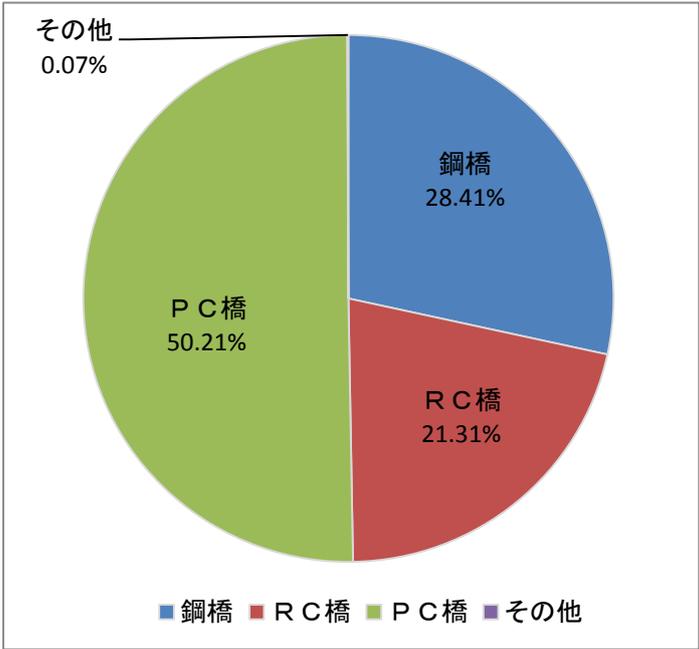


図 3.2-40 道路橋の構造別 橋りょう面積

### (3) 橋りょう延長の分類

本市が管理する橋りょうを橋りょう延長別に分類すると、延長が5 m以下の橋りょうが110橋あり、全体の53.40%を占めます。本市が管理する最も長い道路橋は「高野陸橋」（PC橋 104.2m 市道 205-162号線 鎌倉市大船 1189-3）です。

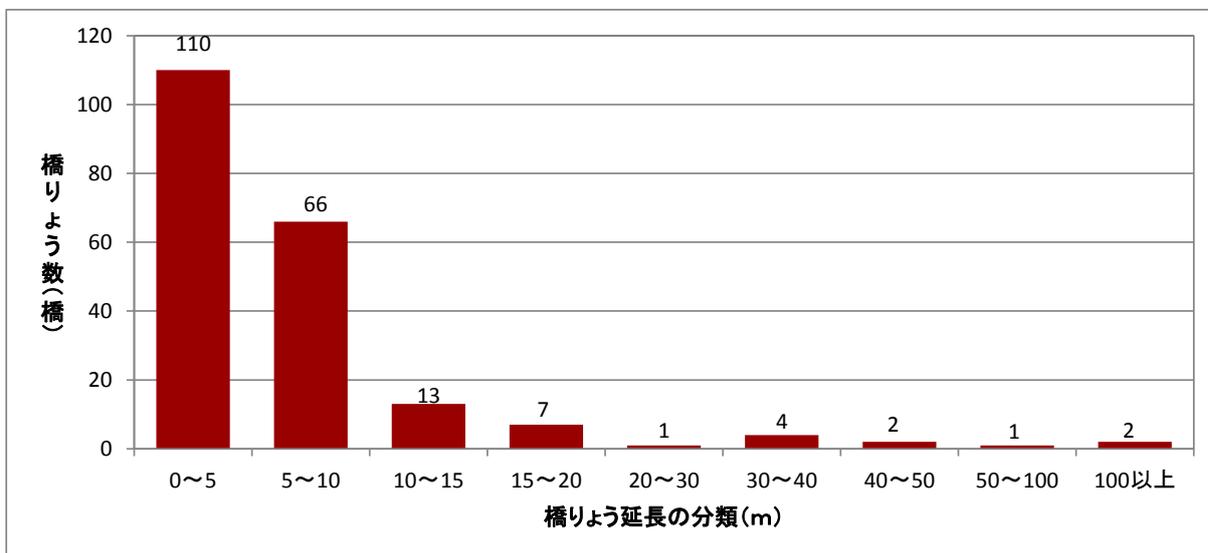


図 3.2-41 橋長ごとの橋りょう数

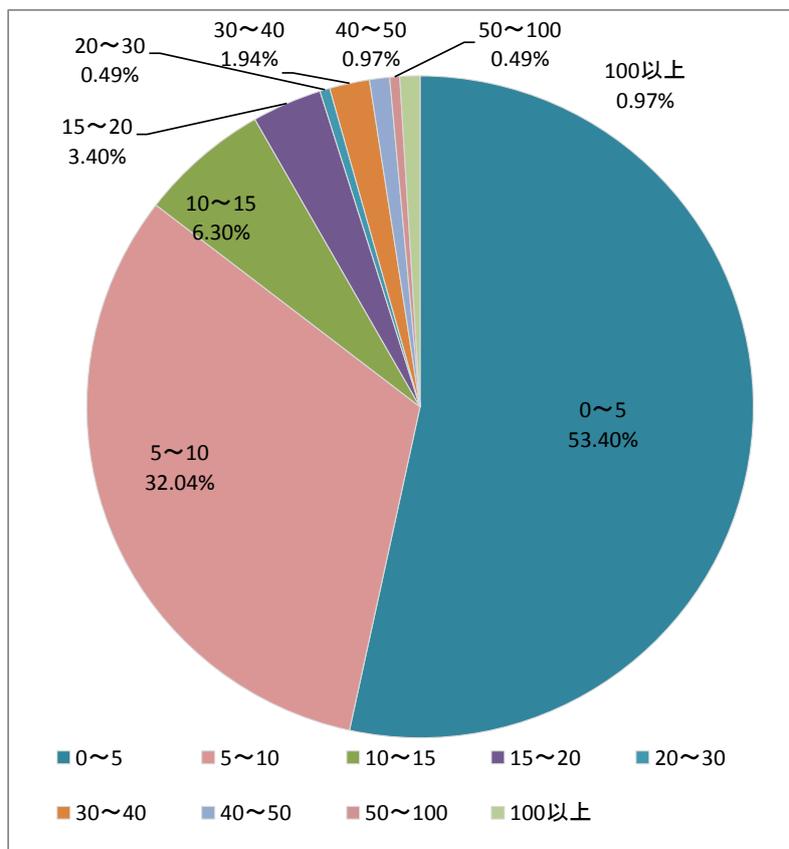


図 3.2-42 橋長ごとの橋りょう数割合

### 3.2.3.3 地域別集計

地域別の道路橋の整備状況は、表 3.2-12、表 3.2-13、表 3.2-14 のとおりです。

表 3.2-12 (道路橋) 地域別 道路種別橋りょう数

地 域	1 級市道	2 級市道	その他市道	合 計
鎌倉地域	7	15	49	71
腰越地域	5	3	14	22
深沢地域	4	14	24	42
大船地域	24	4	30	58
玉縄地域	1	2	3	6
合 計	41	38	120	199

表 3.2-13 (道路橋) 地域別 構造別橋りょう数

地 域	鋼 橋 (橋)	R C 橋 (橋)	P C 橋 (橋)	その他 (橋)	合 計 (橋)
鎌倉地域	5	48	18	—	71
腰越地域	2	12	8	—	22
深沢地域	1	30	11	—	42
大船地域	3	35	19	1	58
玉縄地域	1	5	—	—	6
合 計	12	130	56	1	199

表 3.2-14 (道路橋) 地域別 構造別橋りょう面積

地 域	鋼 橋 (㎡)	R C 橋 (㎡)	P C 橋 (㎡)	その他 (㎡)	合 計 (㎡)
鎌倉地域	452.652	1,413.739	2,190.637	—	4,057.028
腰越地域	297.500	345.628	468.928	—	1,112.056
深沢地域	25.006	478.513	1,142.736	—	1,646.255
大船地域	2,995.065	658.219	3,178.341	9.331	6,840.956
玉縄地域	179.760	66.975	—	—	246.735
合 計	3,949.983	2,963.074	6,980.642	9.331	13,903.030

### ① 鎌倉地域

鎌倉地域では、RC橋が48橋、67.61%を占め、橋りょう面積ではPC橋が約2,191㎡、54.00%を占めます。

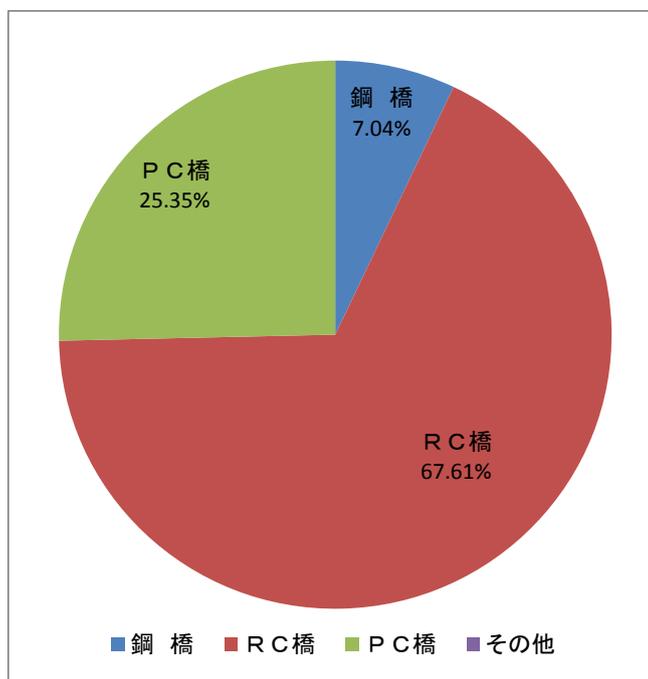


図 3.2-43 (鎌倉地域) 構造別 橋りょう数

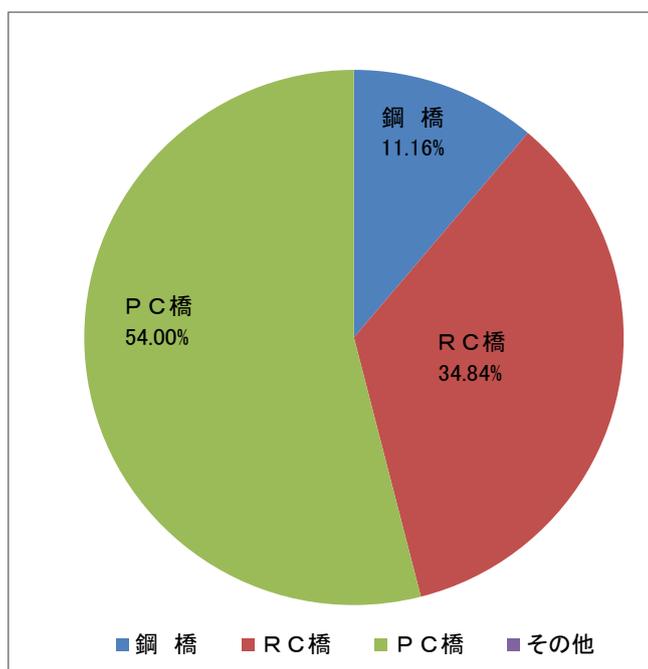


図 3.2-44 (鎌倉地域) 構造別 橋りょう面積

### ②腰越地域

腰越地域では、RC橋が12橋、54.55%を占め、橋りょう面積ではPC橋が約469㎡、42.17%を占めます。

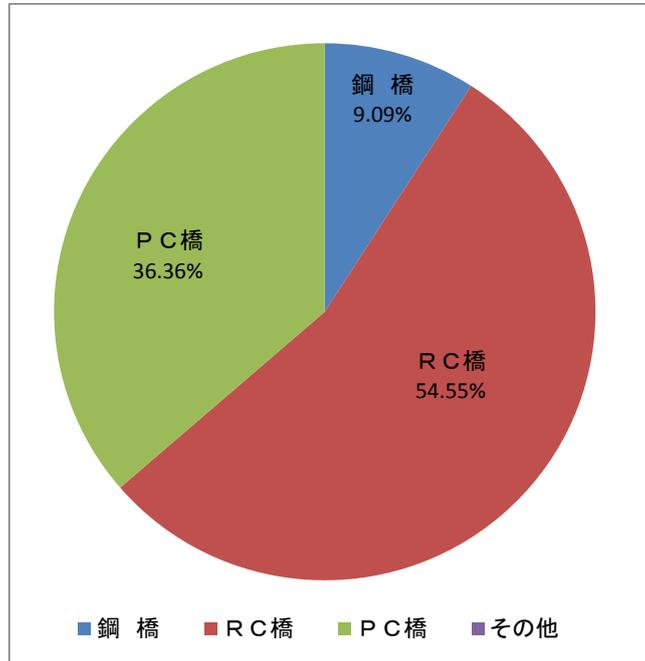


図 3.2-45 (腰越地域) 構造別 橋りょう数

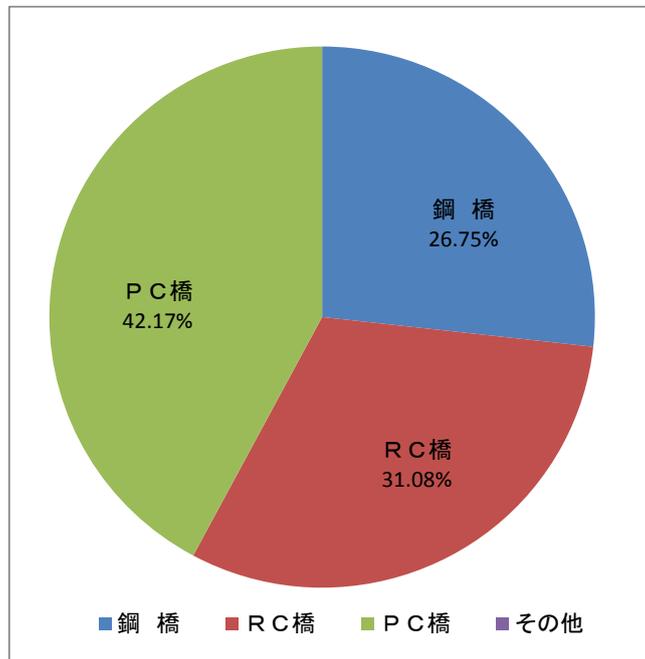


図 3.2-46 (腰越地域) 構造別 橋りょう面積

③深沢地域

深沢地域では、RC橋が30橋、71.43%を占め、橋りょう面積ではPC橋が約1,143㎡、69.14%を占めます。

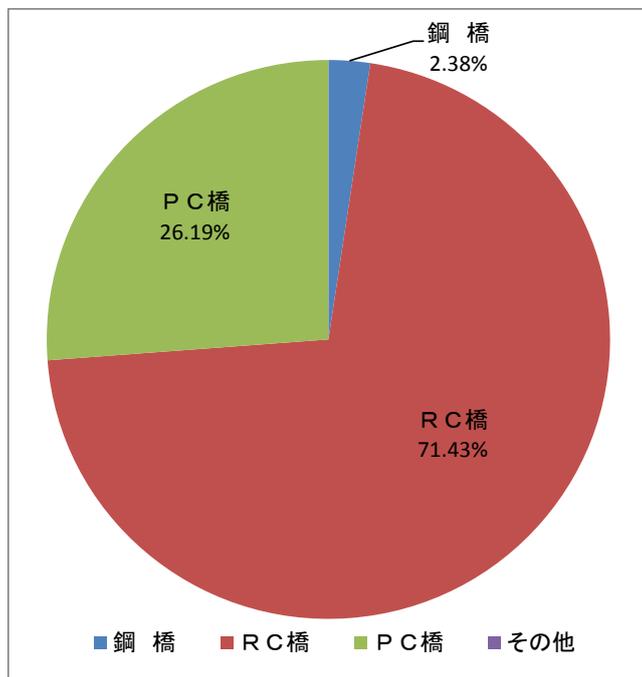


図 3.2-47 (深沢地域) 構造別 橋りょう数

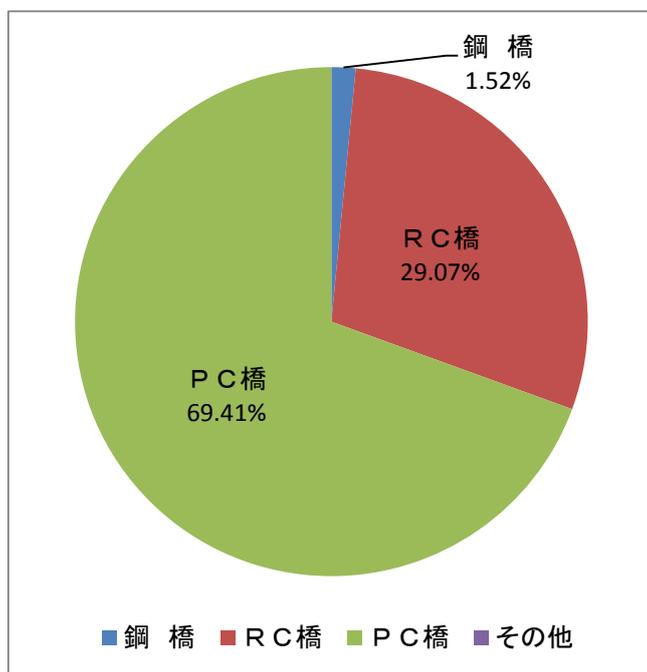


図 3.2-48 (深沢地域) 構造別 橋りょう面積

④大船地域

大船地域は、橋りょう数はRC橋が35橋、60.35%を占め、橋りょう面積ではPC橋が約3,178 m<sup>2</sup>、46.46%を占めます。

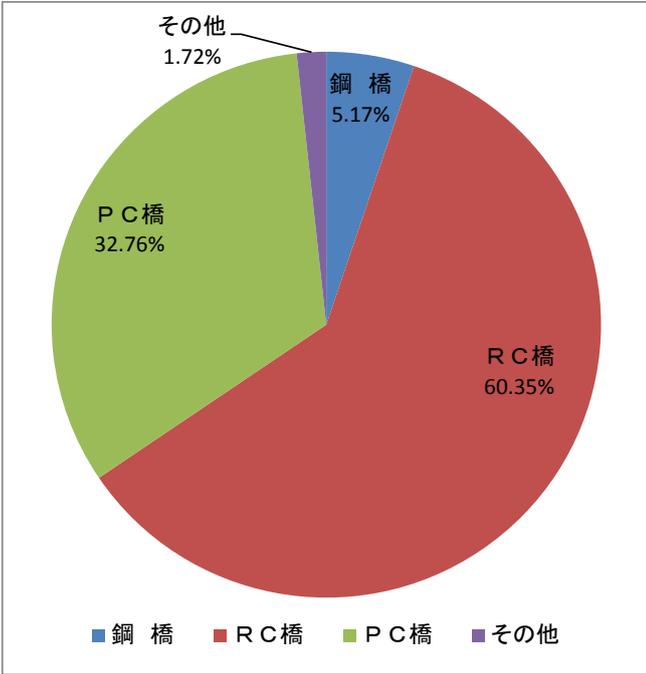


図 3.2-49 (大船地域) 構造別 橋りょう数

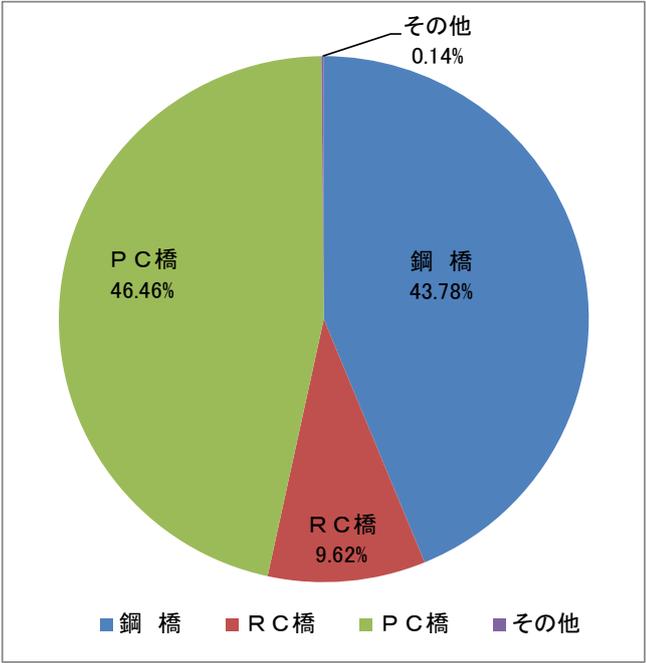


図 3.2-50 (大船地域) 構造別 橋りょう面積

## ⑤玉縄地域

玉縄地域には、橋りょうはRC橋が5橋、83.33%を占め、橋りょう面積では鋼橋が約180 m<sup>2</sup>、72.86%を占めます。

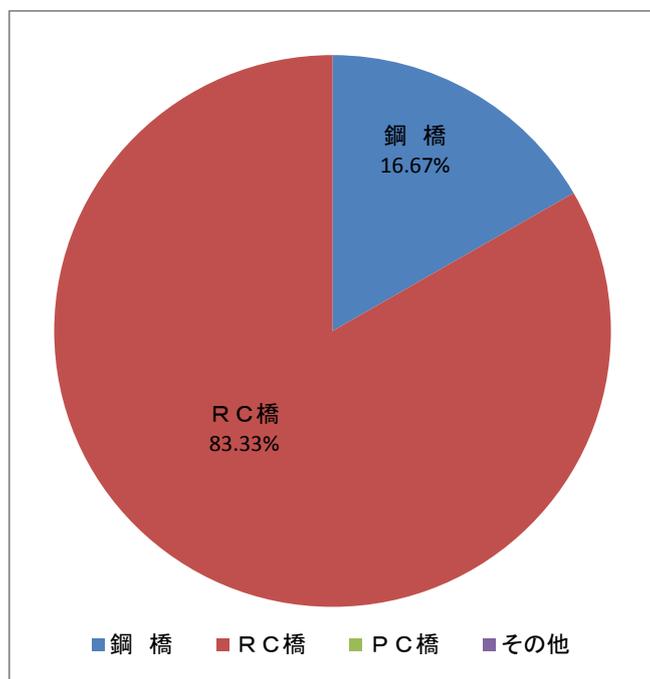


図 3.2-51 (玉縄地域) 構造別 橋りょう数

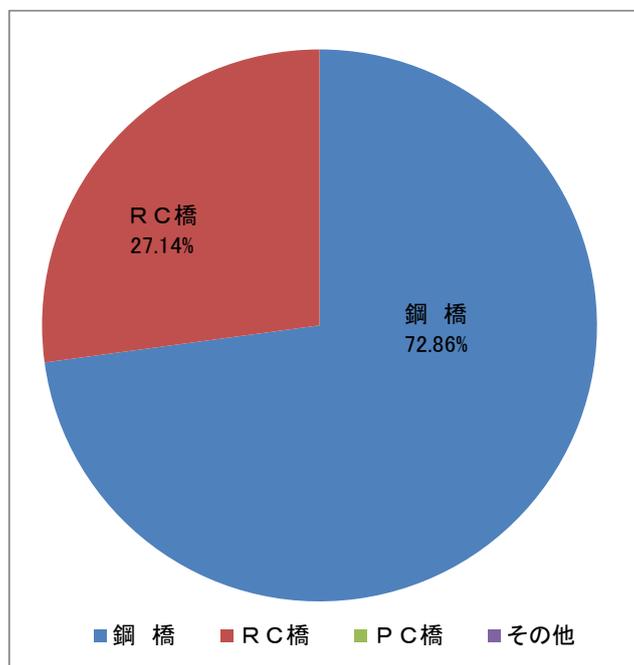
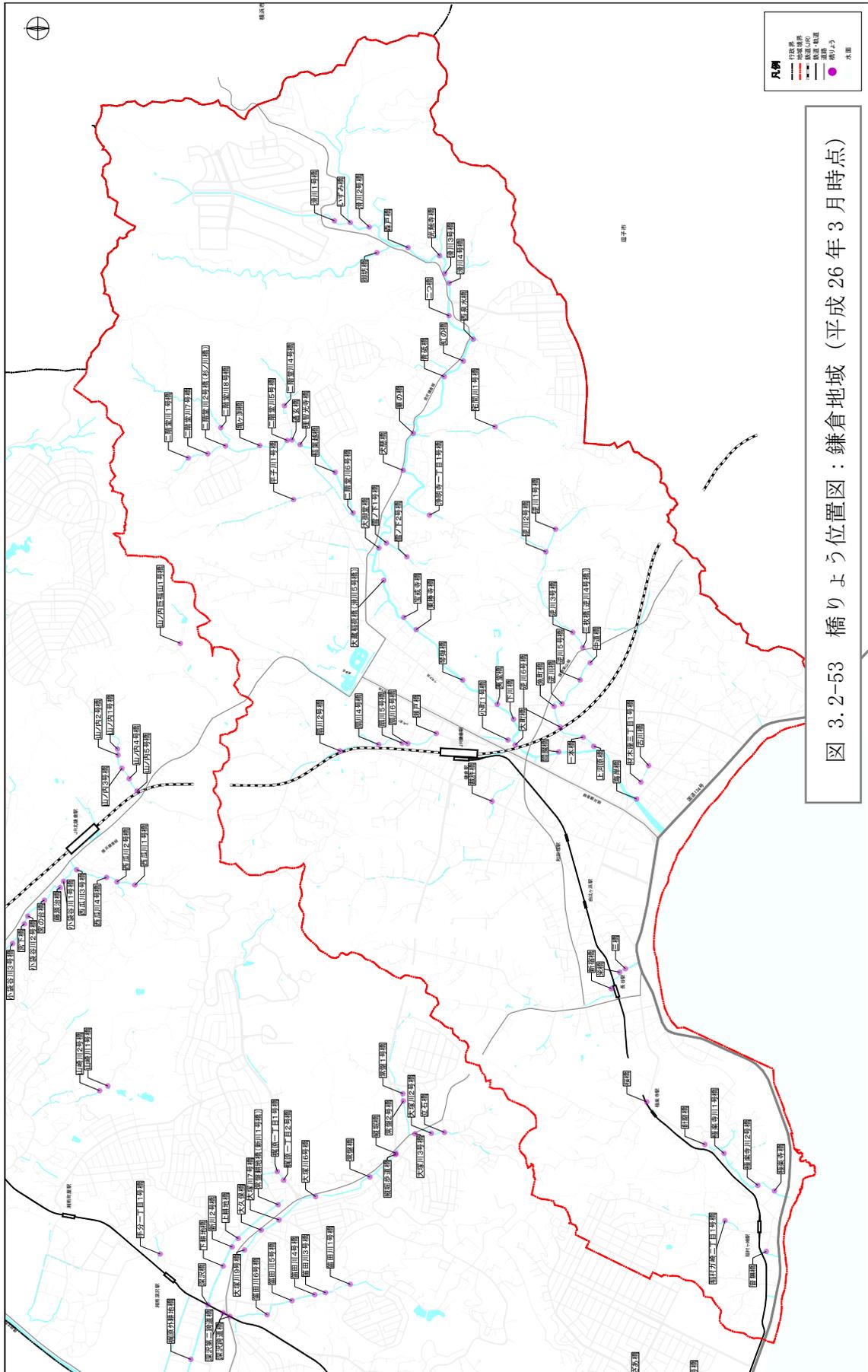
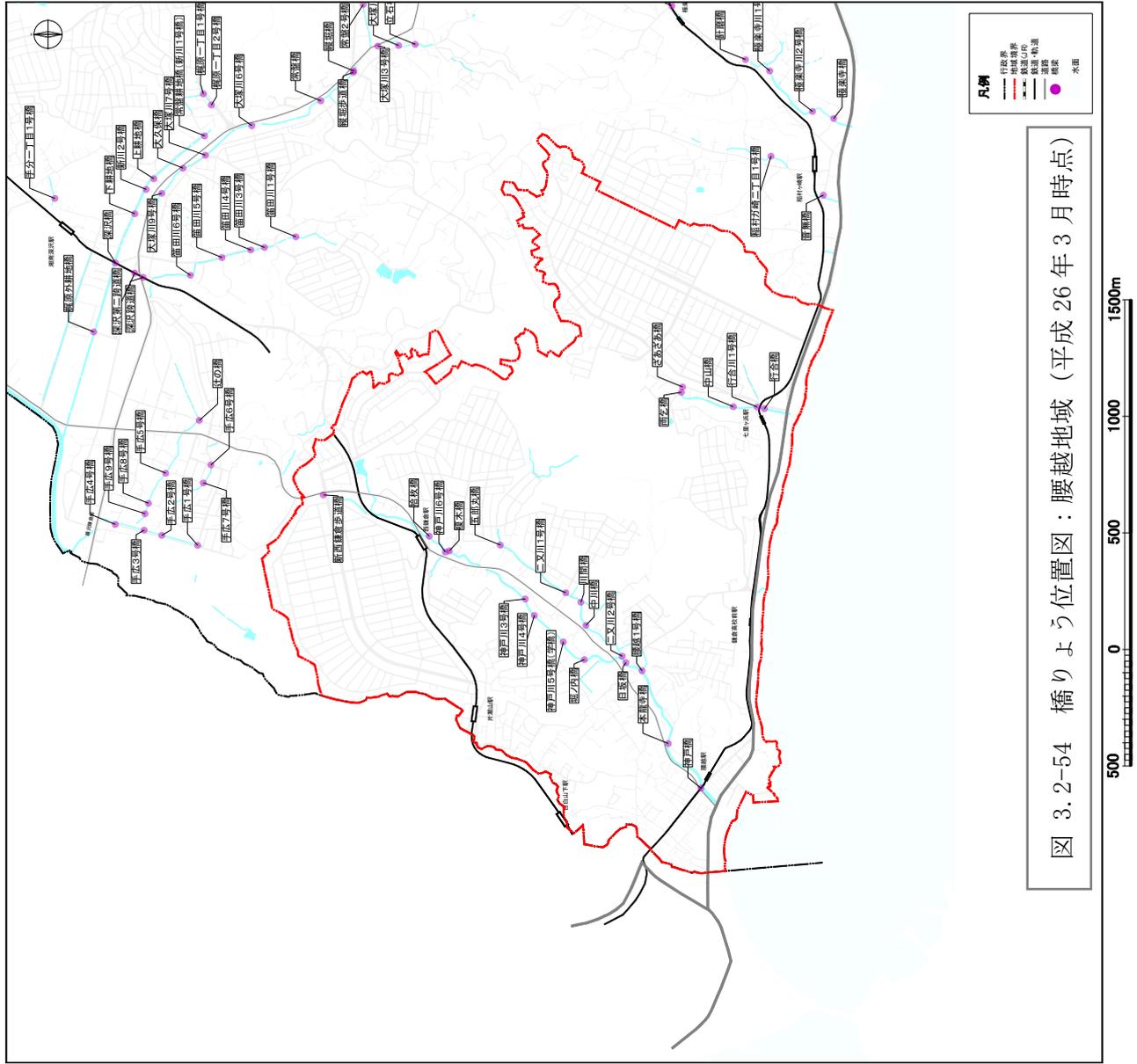


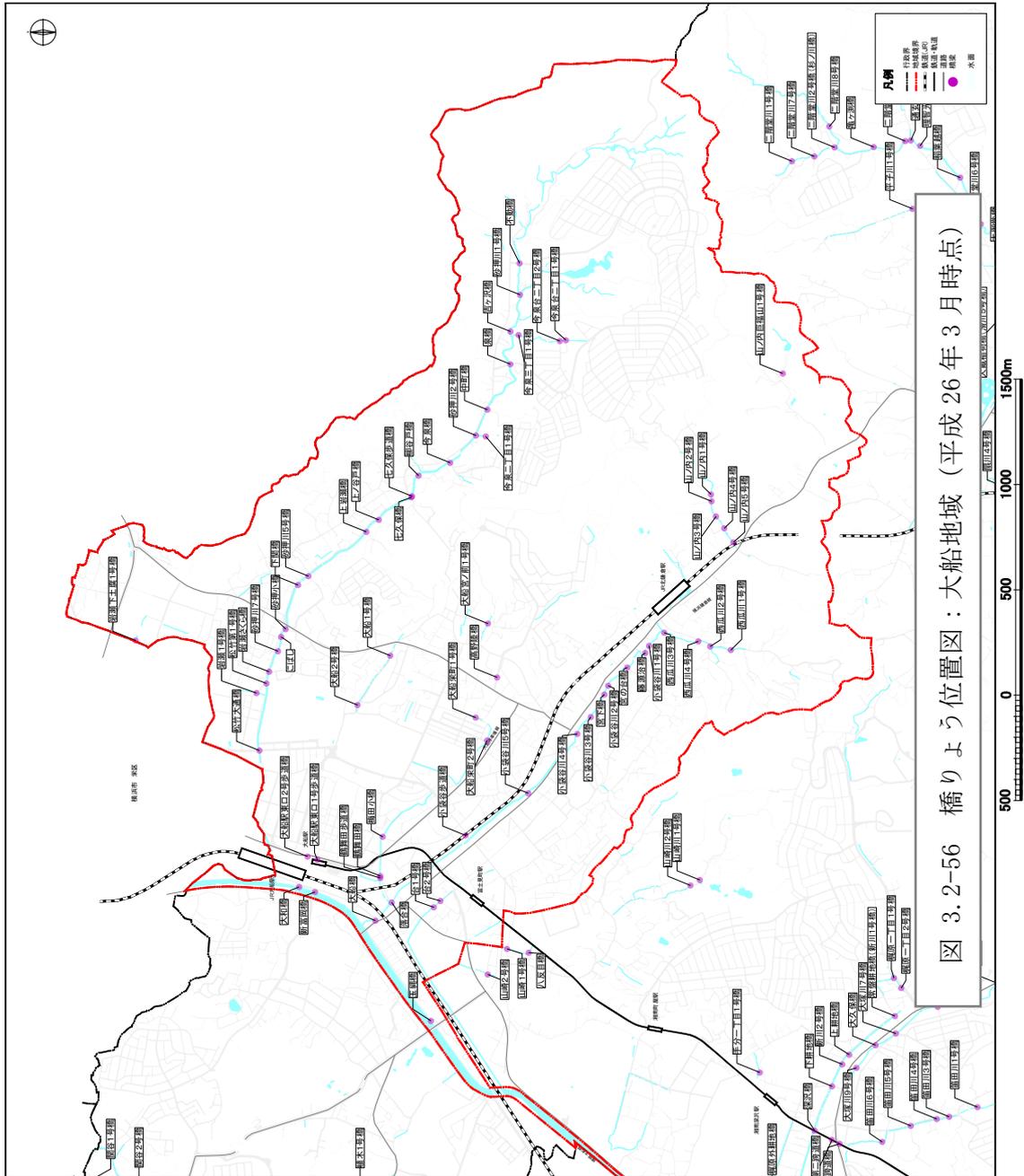
図 3.2-52 (玉縄地域) 構造別 橋りょう面積

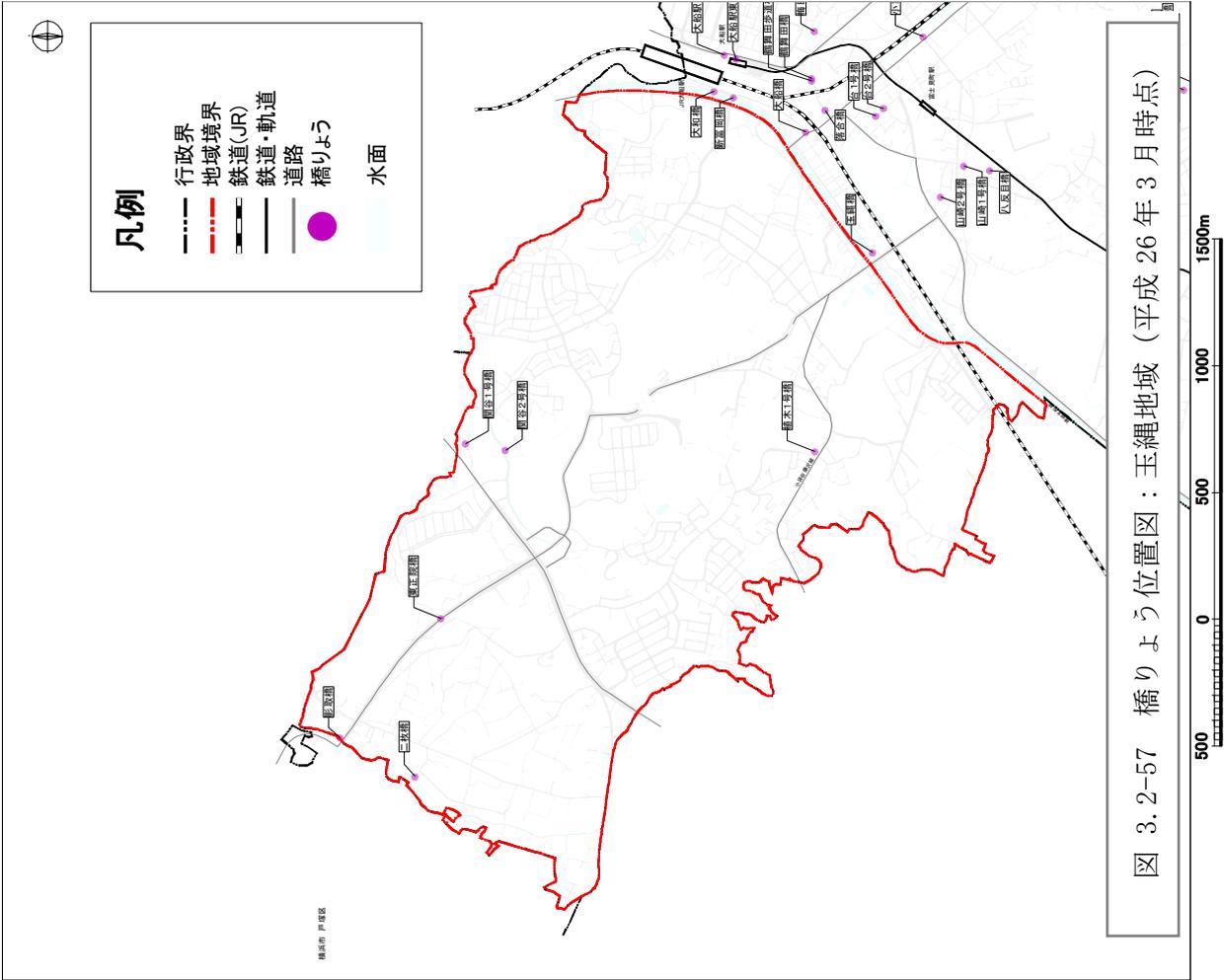
地域別の橋りょうの位置図は図 3.2-53 から図 3.2-57 のとおりです。











### 3.2.3.4 橋りょうの劣化状況

「橋梁長寿命化修繕計画基本方針」（平成 23 年 10 月 財団法人神奈川県都市整備技術センター）に基づき、平成 25 年（2013 年）3 月に策定した「鎌倉市橋りょう長寿命化修繕計画」によると、平成 24 年度（2012 年）までに点検した 60 橋のうち、健全度ランク 4（軽微な損傷）以下の損傷がある橋りょうは、全体の 48.33%です。損傷のうち主たるものは、主桁と橋台の損傷です。

この結果を基に、本市が管理する橋りょう全体の健全度を推定すると、約 100 橋に健全度ランク 4 以下の損傷があると思われます。

表 3.2-15 健全度ランク 4 以下の橋りょうの割合と換算橋りょう数

項目	対象 橋りょう数	主桁	床版	橋台	橋脚	健全度ランク 4 以下 の橋りょう数
平成 24 年度	60 橋	18 橋	6 橋	15 橋	3 橋	29 橋
	—	30.00%	10.00%	25.00%	5.00%	48.33%
全体に換算	206 橋	62 橋	21 橋	52 橋	3 橋	100 橋

※複数の箇所に損傷がある橋りょうがあります。

※健全度：橋りょうの現在あるいは将来の状態を表す指標です。点検結果による損傷程度と損傷要因を基に、橋りょうの安全性と対策工法の規模に応じて 5 ランクで評価しています。

※健全度ランクの程度は次のとおりです。

5：損傷なし、4：軽微な損傷、3：損傷あり

2：安全性に影響を及ぼす損傷あり、1：安全性が著しく損なわれている

### 3.2.4 トンネル及び地下道

#### 3.2.4.1 管理数量

本市が管理するトンネルは、19箇所あります。また、地下道は2箇所あります。本市では平成25年度（2013年）本市が管理する道路トンネル等の本体及び付属物を対象として、近接目視、打音検査、触診等の方法により、第三者に被害を及ぼす可能性の高い変状及び取り付け等の異常を把握することを目的に、点検を実施しています。なお、「釈迦堂切通」では入口付近でがけ崩れがあったため通行禁止としています。

表 3.2-16 トンネル一覧表（平成26年11月時点）

番号	路線名	トンネル名称	地域	延長 (m)	道路幅 (m)	内空 断面積 (㎡)
1	鎌倉市道 052-005 号線	岡本塩原隧道	玉縄地域	46.0	2.8	8.9
2	鎌倉市道 057-002 号線	台亀井隧道	大船地域	10.7	2.3	5.3
3	鎌倉市道 057-023 号線	谷戸ノ前隧道	大船地域	32.0	5.5	2.7
4	鎌倉市道 060-012 号線	岩瀬隧道	大船地域	91.8	5.4	21.5
5	鎌倉市道 060-000 号線	滝ノ入隧道	大船地域	65.0	10.0	54.3
6	鎌倉市道 055-094 号線	猫池隧道	腰越地域	55.1	9.9	56.9
7	鎌倉市道 011-000 号線	三和隧道	鎌倉地域	67.3	3.5	11.5
8	鎌倉市道 027-000 号線	長谷隧道	深沢地域	120.0	9.9	53.1
9	鎌倉市道 027-000 号線	新佐助隧道	鎌倉地域	80.0	9.9	52.1
10	鎌倉市道 008-072 号線	佐助隧道	鎌倉地域	62.0	5.1	23.0
11	鎌倉市道 027-000 号線	御成隧道	鎌倉地域	44.9	10.8	52.3
12	鎌倉市道 006-000 号線	釈迦堂切通 (通行禁止)	鎌倉地域	14.0	4.9	40.9
13	鎌倉市道 001-097 号線	(仮称)材木座隧道	鎌倉地域	39.8	5.0	23.3
14	鎌倉市道 006-044 号線	宝戒寺隧道	鎌倉地域	75.0	2.7	7.3
15	鎌倉市道 066-043 号線	関谷隧道	玉縄地域	52.4	5.8	26.2
16	鎌倉市道 434-046 号線	北鎌倉隧道	大船地域	13.7	2.7	5.1
17	—	(仮称)山ノ内宮下 小路隧道	大船地域	25.1	2.2	6.6
18	—	(仮称)扇ガ谷隧道	鎌倉地域	22.4	3.0	9.0
19	—	(仮称)田園隧道	大船地域	9.5	3.0	8.6
合 計				926.7	—	—

表 3.2-17 地下道一覧表

番号	路線名	地下横断歩道名称	地域	延長 (m)	道路幅 (m)	内空 断面積 (m <sup>2</sup> )
1	鎌倉市道 027-010 号線	鎌倉駅地下道	鎌倉地域	36.9	4.5	12.6
2	—	腰越・津地下道	腰越地域	18.0	2.5	5.9
合 計				54.9	—	—

#### 3.2.4.2 トンネル及び地下道の位置

トンネル及び地下道の位置は、図 3.2-58 のとおりです。

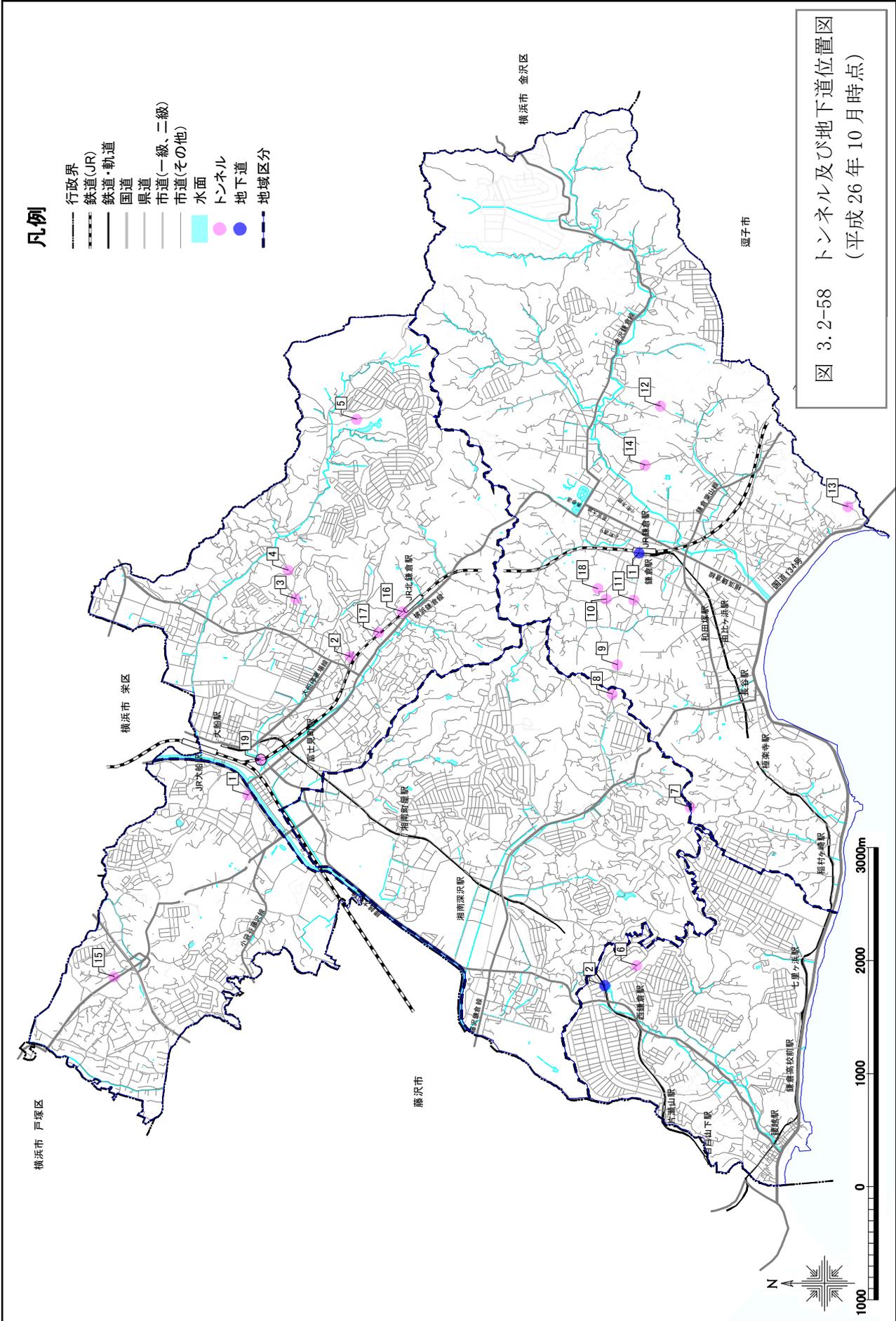


図 3.2-58 トンネル及び地下道位置図 (平成 26 年 10 月時点)